

燕・弥彦の教育を担い、県の教育をリードする西蒲・燕支部を目指して

西蒲・燕支部長 燕東小学校 小林 徹哉(59)

1 「新しい時代の教育を創るときわ会」を目指しての 西蒲・燕支部の目標

＜目標＞ 「高まり 生かし 知り合う」魅力ある西蒲・燕支部

- (1) 会員は、自らを「高め」、「生かし」、「知らせる」。
- (2) 支部内の同年度や隣接年度、サークル等で、「高まり合い、生かし合い、知り合う」絆を深化する。
- (3) 校内ときわや常設3委員会・特設委員会及び事務局は、その役割に応じて、会員のニーズや状況を的確に把握し、計画的・継続的な指導や支援に努める。
- (4) 会員一人一人が、信頼されるときわ会員・信頼される教員としての使命と責任を自覚して行動する。

- ・このたびの「新型コロナウイルス感染症防止対策」を受け、できることを確認しながら進めている。
- ・自らを高めていくことが、子どもたち、学校、地域のパワーアップにつながると考えて、自己研鑽に努めている。そのこと自体が、支部活動の充実に結び付くと受け止めている。

2 支部運営の課題

- (1) 「地域教育プログラム」の継続実施とそれをもとにした教育課程の編成と展開
- (2) 授業改革に向けた支部研修の充実・改善
- (3) 「特別の教科 道徳」「外国語・外国語活動」「プログラミング教育」研修の充実
- (4) 若手・中堅会員（ミドルリーダー）の計画的な育成
- (5) 女性会員の加入促進
- (6) 個々の会員の持ち味を「プラス」にしていく支え合い



3 支部運営の努力事項

＜研修・組織・広報委員会＞

- ・「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた実践的指導力を高める研修の推進
- ・「地域教育プログラム」に基づく教育課程の編成とカリキュラム・マネジメントの実践
- ・「さわやか会」や「若手の会U-21」での活動と会員相互の連携強化、組織の発展
- ・「ライフプランカード」の活用と会員の意向把握&活躍の場の支援
- ・有効な「取組・実践」を紹介、情報交換で授業力アップに貢献
- ・各支部との情報連携を密にすること、支部間交流を促進すること

4 支部の発展に向けて

- 子どもの発達や学びの連続性、郷土を愛する心と人間性の育みを意識していく。
- 「個々の子どもの育成と学校組織の充実が、地域社会への貢献につながる」と意識していく。
- 産業や観光、歴史の面からだけでなく、実際に学校で実施していく活動そのものに目を向け、公的機関からの支援を活用していく。（双方でウィンウィンの関係を目指す）
- 学校のこと、子どものことを中心にすえつつ、実効性のある研修を積み重ね、教師として、人としての力量を高めていく場を多くもつようにする。
- 先輩諸氏の築いてきた多くの物事に真摯に学びつつ、「新しい変化」「変えていくことのよさ」を実感できるように取組を進めていく。